

2025年3月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
2月28日	金	本会議	議場	閉会中調査事件の報告 議案提案、総括質疑
3月3日	月	本会議	議場	
3月4日	火	農政建設委員会	第一委員会室	付託案件の審査
3月5日	水	農政建設委員会	第一委員会室	
3月6日	木	文教経済委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (上野議員担当)
3月7日	金	文教経済委員会	第一委員会室	
3月10日	月	厚生委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (平良木議員担当)
3月11日	火	厚生委員会	第一委員会室	
3月12日	水	総務委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (橋爪議員担当)
3月13日	木	総務委員会	第一委員会室	
3月17日	月	一般質問	議場	各議員の質問日は追っ てご案内いたします
3月18日	火	一般質問	議場	
3月19日	水	一般質問	議場	
3月21日	金	一般質問	議場	
3月24日	月	一般質問	議場	
3月25日	火	本会議	議場	議案採決など

遅くなりまして申し訳ありません。すでにはじまっていますが、3月定例会のスケジュールをお知らせいたします。今回は、議会の都合により3月19日(水)は午後3時に閉会となります。そのため、一般質問が5日間にわたって行われます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.8632025年3月2日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)

先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

豪雪対策で市長に緊急要請

日本共産党新潟県委員会に呼応して県知事への働きかけを要請

党県委員会が知事に緊急要請

日本共産党新潟県委員会は2月24日。引き続き降雪で豪雪災害がさらに緊急度を増していることを踏まえて、花角県知事に次のような要請を緊急に行いました。

災害救助法による豪雪対策の抜本的な強化についての緊急要請

豪雪対策にご尽力いただき、感謝申し上げます。

2月7日以降、6市2町に災害救助法が適用になりました。

降雪は連続して長期に継続し、魚沼地方を中心に広域に及んでいます。高齢化がすすむなかで住民は、必死に毎日雪かきを行い、雪下ろしをしています。しかし、人力による除排雪の限界をこえ、道路除雪でも屋根除雪でも、除排雪場所の確保も困難になっています。重機とダンプカー、マンパワーが決定的に不足しています。つきましては、緊急に下記対策を緊急にとよう要請いたします。

1 重機やダンプカーなどの除排雪機械を、全県・全国から被災地に集中し、緊急に配備してください。

2 マンパワーを緊急に確保するために、自衛隊の出勤を要請してください。全県のマン

パワーの集中をはかってください。

3 集落の面的な除排雪が求められています。災害救助の対象世帯を被本的に拡大してください。

4 今後の生活と生業をふまえ、車庫や農機具倉庫などの除排雪についても柔軟に対応してください。

知事への働きかけを市長に要請

このことを踏まえて、日本共産党議員団と日本共産党上越地区委員会は、連名で市長に対して次のことを要請しました。

豪雪に関する緊急の要請

連日の豪雪に対し、市民生活を守るためにご尽力くださっておられることに感謝申し上げます。

日本共産党新潟県委員会は、今冬の豪雪に際し災害救助法が適用されていること、それ以上に降雪が続く、市民生活に大きな影響が及ぼされていることなどを踏まえ、花角英世県知事に対して別紙の通りの申し入れを行いました。

つきましては、市長におかれましても趣旨をご理解賜り、県に対してしかるべき要請を行われますようお願いいたします。

橋爪議員「実効性の高い避難体制」「センター病院の改築準備」などでの真意問う



このニュースが届く頃には終わっている予定ですが、3月議会初日の2月28日に、橋爪法一議員が市長の提案に対して提案内容を詳しくたず総括質疑を行うことになっています。

その概要は次の通りです。

1. 原子力防災の取組の中の「実効性の高い避難体制」とは何か。また、そのために何を重視して予算を編成したのか。

2. 公立保育園の統合・再編では、通園が困難になること、地域での子育てという概念が希薄になることなどの問題点をどう解決するのか。

3. 上越市合併20周年事業では、合併20年の到達点と課題をどう整理しているのか。

4. 带状疱疹ワクチンの定期接種化では自己負担額や助成額が未定だが、この状態でどのように予算を組んだのか。

5. センター病院の改築では、基本設計に向けた準備の内容はどのようなのか。

6. 前議会で2年後に改築に着手すると言及したが、間違いはないか。また、準備状況によっては来年度中に基本設計に入る可能性があるのか。

7. 院内環境整備として行う空調設備の更新などで問題は解消されるのか。

8. 災害対策について、トイレカーはどんな視点で導入するのか

9. 国の「原子力災害対策事業費補助金」の活用で備蓄物資補強のみを選んだ理由は何か。また他事業は今後どうするのか。